

**新年度が始まりました**

4月7日に始業式、4月10日に入学式を行い、29年度が始まりました。今年度は52名の1年生を迎え、児童数285名、教職員29名です。1年生は初めての学校生活。先日は担任と一緒に学校探検をしました。初めて見る特別教室に目を輝かせ、興味いっぱいでした。給食当番も6年生に教えてもらいながら、できるようになりました。学習の始まりのあいさつ、手を挙げて発表することなど、生活や学習の基礎を学んでいます。2～6年生も新しい学級での当番活動やルールの確認、友達となかよく過ごす仲間づくりを行っています。落ち着いた態度で各学年をスタートすることができました。

この1年間、各学級で充実した日々を過ごすことができるよう、児童と児童、児童と教職員がつながっていきたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

**縦割り班活動**

今年度も異学年交流として縦割り班活動を行います。1つの班が、各学年1～2名ずつの合計12～13名で活動します。6年生がリーダーとなってまとめます。上級生は下級生を思いやり、下級生は上級生に感謝しながら活動を行うことができたらと思います。

4月26日には出発式を行いました。5月1日には全校遠足に出かけます。1年かけてお互いを知り、なかよくなっていくことでしょう。

**☆新年度が始まりました！**

いよいよ新年度がスタートしました。4月10日には入学式を行い、126名の新生を迎え入れ、生徒412名、教職員38名での門出となりました。生徒、教職員ともども気合いを入れて張りきっています！

さて、3年生は4月20日から3日間、京都・奈良・大阪方面に修学旅行に行ってきます。2年生の時から実行委員を中心に準備を進めてきました。修学旅行のスローガンは『NEXT STAGE～成長の第一歩～』です。これには、『東中生としての自覚・責任を持ち、仲間と協力する』『仲間と団結し、絆を深める』『学ぶときはしっかり学ぶ』という願いがこめられています。

1年生は4月22日から国立三瓶青少年交流の家で宿泊研修を行います。2泊3日の研修で、東中生としての心構えや仲間作りを行います。

また、今年度から2年生も宿泊研修を行うことになりました。国立吉備青少年自然の家で5月8日から3日間、1年生で実施した三瓶宿泊研修の経験を生かして、生徒主体の活動をメインに取り組んでいきます。

学校全体としても、1年生の部活動体験や生徒会活動の一環である委員会活動などがスタートし、活気にあふれています。

今年度も、地域の皆さまにはお世話になることとします。何かお気づきの点がございましたらお気軽にご連絡下さい。よろしくお願いいたします。

米子市立東山中学校 電話・FAX 34-3241  
メールアドレス higashi-j@mailk.torikyo.ed.jp  
HP アドレス

<http://www.torikyo.ed.jp/higashi-j/>  
携帯電話からのアクセス  
<http://cmsweb2.torikyo.ed.jp/higashi-j/>

啓成校区の歴史散歩

(153)

亀尾八洲雄

米子の災害 ⑭

米子平野を潤(うるお)す日野川は、日野郡日南町三国山に源を発し、約四十の支流を集めて約七十八キロを流れて皆生で日本海に流れ込んでいる鳥取県西部の最大の河川である。

米子の観音寺地区で日野川と合流する法勝寺川は鎌倉山から流れ出て南部町で東長田川と合流し、更に米子市青木で小松谷川と合流、最後に観音寺で日野川に合流する全長二十五キロの小河川である。

宗像・青木・観音寺地区は昔から洪水被害の最もひどい地域であった。これは日野川の土砂が堆積によつて年々高くなり日野川の水が法勝寺川に流れ込むのが原因であった。

大正七年に大改修を行い、治水は安全と思われていたが、大正八年七月三日より五月まで雨は降り続き、加茂川が増水して町内に流れ込み、米子駅前道路は七十五糎の水かさで、道笑町二丁目、万能町、朝日町、西町など一二〇戸位が床上浸水した。

その後、大正九年八月二十七日、青木堤防決壊、大正十二年七月十一日から十三日の日野川増水による日野川鉄橋の橋脚流出、青木堤防の八間(約十四米)の決壊、大正十五年七月二十六日より二十七日迄の豪雨による加茂川の氾濫、糺町一・二丁目、博労町裏、角盤町など床上浸水約二〇〇戸、八月九日には浸水被害者の二二〇名が町議会に「加茂川大改修」の陳情書を提出した。

町議会もこれを了承して「臨時治水委員会」五名を作り加茂川上流より水害防止の調査を始めた。しかし、昭和三年六月二十九日、又もや加茂川が氾濫して、糺町裏地帯に浸水した。

